

特記仕様書

「現場発生土(流用土)を埋戻し材に用いる場合について」

■埋戻し材について

現場発生土について、当該工事の埋戻し材として使用が可能となる基準については、以下の調査試験方法を標準とし、土質区分基準における第2種建設発生土以上のものに限り、使用することができるものとする。

■調査試験項目について

＜物理試験＞

- ①土粒子の密度試験
- ②土の含水比試験
- ③土の粒度試験
- ④土の液性限界試験
- ⑤土の塑性限界試験

＜力学試験＞

- ①締固めた土のコーン指数試験
- ②土の締固め試験

以上の試験結果において、土質区分を判定する。

■現場発生土の使用の可否について

監督員へ試験結果を提出し、その結果により監督員が判断する。

■現場の密度管理について

密度管理については、土木施工管理基準に準ずることとする。

■その他

現場発生土を埋戻し材に用いる場合には、基本的に1工事毎に調査試験を実施することとする。但し、近接工事並びに同一区域等において過去に調査を行った試験データ等がある場合には、それを利用することも可能である。

以上